

第三者審査報告書

環境・社会報告書審査の目的

富士重工業は、2006環境・社会報告書を発行するにあたり、「正確でわかりやすく、透明性が確保されている報告書を作成するため、重要な情報・環境データの収集・集計・報告が妥当^{*1}に行われ、本報告書が参考になっているガイドラインに基づく重要な情報が網羅^{*2}され、正確^{*3}に記述されているかについて、当社のISO14001認証機関のひとつでもある、ティフラインランドジャパン（株）の第三者審査を初めて受けました。

※1：報告書の妥当性とは、記載内容について、経営者や企業にとって不利な情報の記載が省略されていないか、記載の要否に関して、報告書の重要性（報告書に虚偽の記載・モレがあることにより、利害関係者の判断に影響を与える程度のこと）の判断が恣意的に行われていないか、ということ。

※2：報告書の網羅性とは、記載内容が参照しているガイドラインに沿って情報が開示されているか、ということ。

※3：報告書の正確性とは、記載データを正確に測定・算出できているか、ということ。

環境・社会報告書審査・意見を受けて

当社の環境に対する独自の姿勢や取り組み、汚染の未然防止に対するきめの細かい活動などにつきましては高い評価をいただきました。しかし、報告内容について掲載したデータの適用範囲が不明確である、環境関連法規制や自主基準に対する当社の取り組み結果が掲載されていない、準拠したCO₂換算係数の出典が明記されていない、廃棄物の取り組みに関して当社の定義が曖昧である、CSRについて企業理念、方針、規範、行動との関連性をより明確にすることが望まれる、などのご指摘をいただきました。これらの評価を真摯に受け止め、より積極的にステークホルダーの皆さまとの対話を進め、社内の取り組みの改善と報告書の改善を進めてまいります。



審査報告書詳細は審査機関ホームページ(<http://www.tuv.com/id=9105019495&lang=en>)をご参照下さい。



群馬製作所での現地審査、担当事務局へのヒアリング

編集後記

2000年に初めて環境報告書を発行して以来毎年発行を重ね、2004年度からは環境・社会報告書と改め、環境以外の企業の社会性取り組みに関する情報開示も行ってきました。しかしながら、読者の方々からは報告書の活用方法に対するご提案や紙面が厚すぎる、データが煩雑で読みづらいなどのご指摘もいただきました。

本報告書では、このようなご提案やご指摘を真摯に受け止め、詳細なサイトデータを別冊化するなど読みやすい紙面作りを目指し編集してまいりました。また、当社や関係会社の特徴的な取り組みについてはより多くの関係者に登場をいただき、「顔の見える」報告書づくりにも掛けました。さらに、環境報告書審査を受審することで、誠実に情報を開示していくことにも留意しました。

本報告書がステークホルダーの方々とのコミュニケーションの一助として役立つことを願うとともに、お読みいただいたご意見やご感想を添付のアンケートなどでお聞かせいただければ幸いです。

2006年8月

編集：富士重工業株式会社 総務部 CSR・環境推進室 鈴木 達也、関川 隆雄、鍵田 満
お問い合わせ先：TEL 03-3347-2036 FAX 03-3347-2530
発行部署：富士重工業株式会社 総務部 CSR・環境推進室
製作支援・印刷：株式会社 久栄社 株式会社 セントラルプロフィックス



表紙について

表紙の写真はプレアデス星団、日本名「すばる」です。当社の六連星（むつらぼし）のコーポレートシンボルはこれをデザインしたものです。環境に配慮し、社会に対してお役にたつ製品とサービスをご提供しながら、いつまでもこのかけがえのない地球の環境を私たちは守り続ける必要があります。この美しい星空をいつまでも享受するためにも。

(表紙用とするため一部画像を処理しています)

©アプロフォトエージェンシー